

第2回 地域包括ケア研究会（医療介護同時改定が進める入退院支援を考える）のアンケート集計

（平成30年11月14日）

（46病院85名・68名回答）

1. 講演『医療介護同時改定と今後の方向性』を聞いて。

（講師：岡山県保健福祉部 部長 中谷由貴子 先生）

A.

a. 大変勉強になった	37名	c. どちらとも言えない	1名
b. 勉強になった	29名	d. 勉強にならなかった	1名

B. ご意見・ご感想

- ・わかりやすい内容であった。(2)
- ・再確認させられた研修だった。
- ・方向性について大変わかりやすかった。
- ・今後の方向性について、再度確認ができた。
- ・裏話も聞くことができ、わかりやすかった。
- ・今回の同時改定の決定までの流れなど、とてもわかりやすかった。
- ・報酬改定に至る考えや今後の視点についてお話いただき、わかりやすかった。
- ・同時改定があり、入退院支援の方法に悩む日々だが、退院時共同指導料などできる限りの算定ができるようになればと思う。
- ・4月の改定時からしばらく時間が経つての改めてのお話で、忘れかけていたことや新たな気づきがあった。実際に担当された中谷先生のお話はリアルで興味深かった。
- ・中谷先生の「必要な所に必要なお金をかけ、質の高い医療サービスを提供できるようにする」というお言葉にとっても勇気づけられた。MSW、退院支援部内が患者が地域で安心して過ごすために不可欠と断言できるよう日々努力していく。
- ・退院支援の必要性を感じた。

2. 事例発表「地域包括ケアシステム推進のための入退院支援の取り組み」を聞いて。

（発表者：落合病院 入退院支援室 室長 香々美 君子 氏、

岡山労災病院 退院支援看護師 浅越 葉子 氏）

（67名回答）

A.

a. 大変勉強になった	32名	c. どちらとも言えない	0名
b. 勉強になった	35名	d. 勉強にならなかった	0名

B. ご意見・ご感想

- ・活かせるところを院内で実践したい。 ・自施設での取り組みの参考にしたい。
- ・診療報酬との結び付きができた。
- ・全体的に取り組みの見える発表、有難うございました。
- ・他医療機関のシステム作りがわかり、とても勉強になった。
- ・病院体制や苦勞していることも同じであると思った。
- ・すでに当院で行っているの、同じ立場として参考になった。
- ・具体的な院内での立ち位置や院内外の連携の大切さがよくわかった。
- ・ターミナルの具体例がとてもわかりやすく、ACPの重要性も改めて感じた。
- ・ベッドコントロールと病棟・主治医との連携について考える機会となった。
- ・取り組みは当院と比べ、全て一人でといったところは大変そうだった。
- ・困難事例は本人の意向（癌など）を重視したサポートと、家族のサポートの重要性を学んだ。
- ・緊急入院での入退院支援の取り組みについてお聞きしたい。

3. グループワークに参加して。（62名回答）

A.

a. 大変勉強になった	45名	c. どちらとも言えない	0名
b. 勉強になった	17名	d. 勉強にならなかった	0名

B. ご意見・ご感想

- ・他施設のことがわかった。 ・苦勞や悩みなど共有ができた。
- ・いろいろな意見や方法が理解できた。 ・時間が短かった。
- ・いろいろな職種の方と話し合いができた。
- ・他施設の方と顔の見える意見交換ができてよかった。
- ・各病院の方の取り組みを聞くことができて勉強になった。
- ・各病院の取り組みや現状、課題などがわかり、とても勉強になった。
- ・各職種の情報共有の方法やベクトルの統一方法について、大変参考になった。
- ・病院の特色による特異な入院例について参考になった。
- ・いろいろなシステムや方法を聞くことができてよかった。
- ・当施設や自分の業務としてやるべき事のヒントになった。
- ・同じように努力されていることがわかり、力になった。
- ・他院で困っていることや面談方法など、いろいろ聞くことができた。
- ・様々な職種の方から日頃の業務についていろいろな話を聞くことができてよかった。
- ・機能や地域、職種の違う方といろいろ話ができ参考になった。

- ・各病院の様々な役職の方の意見を聞くことができて、大変勉強になった。
- ・いろいろな意見が出て、どこも同じような悩みを抱えていると感じた。
- ・それぞれの取り組みを聞き、これから活かしたいと思う。
- ・他施設で行っていることを知り、参考になることもあった。
- ・みんな熱い想いを持って取り組んでいるのが伝わり、今後の励みになった。
- ・それぞれの病院の悩みを知り、同じ悩みを抱えながら考えて取り組んでいることを知ることができた。
- ・他院の方も同じような悩みを持たれているのがわかり、持ち帰り当院での対応に役立てたい。
- ・他院や他職種の方との情報交換ができたため、様々な視点からの意見を聞くことができてよかった。
- ・他院の情報を聞くことができてよかった。もう少し時間があってもよかった。
- ・他院の看護師や他職種の方の意見を聞くことができ、現場での業務に対する意識の向上に繋がった。
- ・連携の際に顔の見える関係は大切だと改めて感じ、今回のような研修が大切な機会だと思った。
- ・突然の司会の拝命のため緊張したが、意見がしっかり出て良い雰囲気ですんでホッとした。

4. 地域包括ケア研究会で今後、取り上げてほしい内容

- ・事例検討会。
- ・終末期について。
- ・入退院支援について。
- ・入院支援加算について。
- ・終末期患者の在宅復帰について。
- ・入退院支援パスについて聞いてみたい。
- ・統一した情報シート。
- ・療養型病棟の現状と課題。(地域ごとに)
- ・看護師以外の取り組みなども聞いてみたい。
- ・病院から地域住民への関わりに関する事例や取り組み事例。
- ・各医療関係者や介護事業者が取り組んでいる医療介護連携と今後の課題について。
- ・連携を取っていくうえでの院内での人材育成について。
- ・行政機関との連携(地域包括ケアシステム)の仕方。
- ・岡山県内でも地域差があるので、その地域に合った助言がほしい。
- ・グループワークにおいて、それぞれの地域における地域包括ケアシステムの取り組みの共有。
- ・同じ職種のみでグループワークを行うことが多いが、他職種と話をすることでそれぞれの立場や考え方を聞くことができてよかった。今後も他職種と話す機会があればうれしい。

【職 種】

看護師	40
MSW	18
事務	4
社会福祉士	2
MSW・OT	1
未記入	3

【所属施設種別】

病院	65
老健	0
その他	1
未記入	2